

社協だより

2019年 8月発行
第164号

吉賀町共同募金委員会イメージキャラクター

あ「くらしもっと」



コーヤン(高野横)

コメ吉(お米)

発行者/社会福祉法人 吉賀町社会福祉協議会
鹿足郡吉賀町六日市580-4 吉賀町福祉センター内
電話(0856)77-0136・FAX(0856)77-0980
ホームページ: <http://www.yoshika-shakyo.jp>

やさしさとふれあいの町

「社協だよりくらしもっと」の発行は、共同募金助成金を活用しています。この社協だよりに写真やお名前を掲載するにあたり、本人やご家族から承諾を得ております。

「下七日市大規模建物火災の支援に対する振り返り」を開催

7月30日(火)、島根県社会福祉協議会との共催により「下七日市大規模建物火災の支援に対する振り返り」を開催しました。下七日市大規模建物火災においては様々な立場の方々から多くのご支援を頂き改めて感謝申し上げます。

この会は、助け合いステーションの運営に関わってくださった方、ボランティアなど支援に入られた方にご参加頂き支援の内容、関わった方々の思い、また今後の課題や引き続き検討すべき事項等について、共有することを目的に行いました。

日野ボランティア・ネットワークの山下弘彦さんの進行により、「どんな取り組みをしたか」「どんなことを感じたか」についてインタビュー形式で発表していただいた上で、グループに分かれ、意見交換を行いました。

吉賀高等学校1年生の下野翔輝くんは『自分の家の前で家が燃えている。このような状況で楽しく生活なんかできるわけない。使命感があった』とボランティアの動機を発表してくださいました。

そのほかには、『会社を休んでボランティアに行きたいが、休めない。会社の理解も必要』、『様々な支援が行われていたことを知った』、『見える所の片づけが終われば終了というのではなく、被災者支援はまだ維持していく必要がある』、『災害に備え、日頃からご近所とのコミュニケーションが大切』など、様々なご意見を頂きました。

地域のみなさんの「被災された方を助けたい」「何か役に立ちたい」といった思いを改めて感じる事が出来たと同時に、今回のご意見を今後災害が発生した際の被災者、被災地支援に活かしていきたいと思えます。



吉賀高等学校1年生 下野翔輝くんの発表

吉賀町へ意見書の提出について

公民館単位で毎年開催している地域支え合い会議の中で『役場内の各課が会議やイベントを開催し地域づくりやまちづくりに向けた様々な取組みを行っているが、地域人口が減少する中、地域側は重複する内容の会議やイベントに頻繁に参加を求められ過大な負担となっている。役場の各課が縦割りではなく一つにまとまって地域と協働で地域づくりに取り組めるよう配慮して欲しい。』という各地区共通のご意見をいただきました。それを受け今年3月末に関係機関や地域の代表者で意見交換をしました。役場の各課が連携し一体となって住民とともに地域づくりを目指していくシステム構築が必要との共通理解のもと、誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて「吉賀町調整会議（仮称）の設置」についての意見書を吉賀町長に提出しました。

抜月（河内・大谷）地区 令和サロンが始まりました

みんなで集まるきっかけづくり、健康づくりとして、河内・大谷地区 19 名による百歳体操&ふれあいサロンが始まりました。

ここへ来たら人と会える、お喋りできる、ご近所の様子もわかる・・・いいことばかり・・・皆さんの笑顔、話し声が弾むサロンとして未永く継続して頂けたらと思います。



* 熱中症予防のお勉強 *

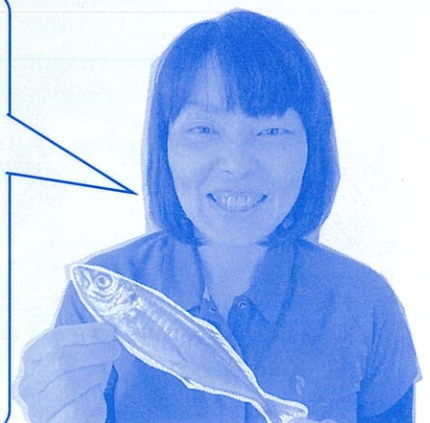
「平川さんの栄養指導は、わかりやすく楽しいわ」とサロンの皆さんに好評です。



この春から地域包括支援センターで管理栄養士として働いている平川文江です。

教室やサロンに出向いて食事の講話をしたり、時には、お宅に訪問して食事の相談を受けています。

仕事をしている時は、まじめに黙々とやっていますが、笑うことが大好きです。笑うと“えくぼ”が出るのが特徴です！一人でも多くの方に“えくぼ”を見つけていただけるように、一人でも多くの方の力になっていけるように精進します！未永くよろしくお願ひします。



サマーボランティアスクール2019事前研修会 開催

8月2日(金)に吉賀町の中学生を対象に、研修会を開催しました。毎年夏休みを利用して福祉施設へボランティア体験に行く前に福祉について知ってもらうための事前研修です。

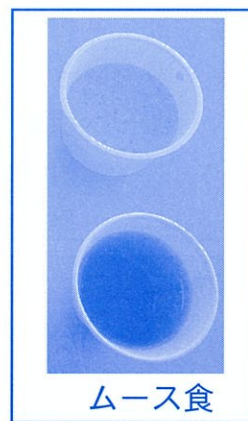
今年度は、地域包括支援センターの平川管理栄養士による介護食についての話しと、実際に介護食を作って食べる体験をしました。

また、社協職員が福祉とは『ふだんのくらしのしあわせ』を実現させるもので、他の人のしあわせも、自分のしあわせと同じように尊重することが大切であることを伝えました。

食べることってなに?? それは生きること。高齢になると食べ物を噛んだり、飲み込む機能が低下してしまう。いつまでもおいしく食べれるように、今のうちから、規則正しく食べ、栄養バランスのとれた食事をするのが大切。と、平川栄養士のお話。



普通食



ムース食

- ①『きゅうりとツナのマヨネーズ和え』と麦茶を、普通食とムース食に分けて作ってみる。
- ② 実際に食べ比べてみる。

【感想】

- * 普通食とムース食は全然違って、ムース食はとても食べづらかった。でもこの食事を高齢者は食べているのだなと思った。
- * ボランティアへ行くときは、お年寄りたくさん話して、いろいろ経験してたくさんの事を知りたい。
- * 介護食を作ったことで、高齢者福祉にも興味を持つことができたので来年は高齢者施設にボランティアに行ってみたい。
- * 私の祖父母も今入院していて、今日みたいなご飯(ムース食)を食べているので、早く元気になって、ふつうのおいしいご飯が食べられるようになってほしい。
- * 毎日しっかり三食食べて、運動をして、歯もていねいにしっかり磨いて、健康に過ごしたい。
- * ボランティアに参加するうえで、将来の職業選択などに役立て、自分のボランティア精神を磨きたいと思う。

社会福祉協議会へ御厚志、誠にありがとうございます。

(令和元年7月1日～令和元年7月31日受付分)

次の方々より社会福祉事業のためにご寄附いただきました。

《見舞い返礼として》
(敬称略)

寄附者名 住所 故人名

谷口サチ子 (柿木)
杉 一憲 (沢田) 杉 繁
福江 良幸 (有飯) 福江ハツノ

《香典・玉串返礼として》
(敬称略)

寄附者名 住所 故人名

杉 一憲 (沢田) 杉 繁
福江 良幸 (有飯) 福江ハツノ
米本 靖彦 (幸地) 米本 哲雄
糟谷 圭子 (六日市) 糟谷 俊輔
石井 政信 (下須) 石井アヤ子
長峯 芳正 (真田) 長峯 玉子
大庭 正義 (樋口) 大庭 育子
久保よね子 (柿木) 久保 旦

《篤志》
(敬称略)

寄附者名

〇ーソン六日市インター店
(店内募金箱)

令和元年度 福祉・保育の仕事 就職・転職フェアしまねにお越しく下さい。

島根県内の福祉事業所の人材確保及び福祉職場に就職を希望する方への支援を目的に開催します。

- ◇期 日 令和元年度9月6日(金) 17時30分～ / 7日(土) 13時～
- ◇会 場 いきいきプラザ島根 体育館 (松江市東津田町 1741-3)
- ◇内 容 ・事業所による個別就職面談コーナー
・福祉人材センターによる就職に関する相談・求職登録
・福祉の仕事ガイダンス ・無料託児あり (要申込)

※参加料無料、申し込み不要、入退場自由、服装自由、

【問い合わせ先】 島根県社会福祉協議会 (0852) 32-5957

9月の“ふくし何でも相談会日程表”(相談はすべて無料)

ひとりで悩まないで・・・



田中 秀樹氏

日 時	相談名	相談内容	相談員	場 所	予約
9日(月) 10時～12時	法律相談	遺言、相続、贈与、財産分与、多重債務、民事の法律問題等	弁護士 田中 秀樹 氏	福祉センター (六日市)	必要
20日(金) 9時～12時	ふくし何でも相談	人権侵害、日頃の悩み等	人権擁護委員	福祉センター (六日市)	不要
			人権擁護委員	柿木公民館 (柿木)	不要

	日 時	場 所	内容・問い合わせ先
陽だまりの会	9月24日(火) 13:30～15:00	福祉センター (六日市)	認知症の方とその家族の会 地域包括支援センター：77-3123
さくらんぼクラブ	9月20日(金) 10:00～12:00	七日市デイサービス センター2階	子育てサロン(里帰り中でも参加可能) 吉賀町社会福祉協議会：77-0136